

令和6年度（令和5年度事業対象）

大洗町の教育に関する事務管理及び 執行状況の点検・評価報告書

大洗町教育委員会

— 目 次 —

第1 点検・評価の概要	1
1. 趣旨	
2. 点検・評価の対象	
3. 点検・評価の方法	
4. 大洗町教育委員会評価委員名簿	
5. 評価委員会実施日	
第2 教育委員会の活動状況	3
1. 大洗町教育委員会について	
2. 教育委員会会議の開催状況について	
3. 定例会及び臨時教育委員会以外の主な活動状況	
4. 令和5年度教育委員会の予算・決算状況について	
第3 教育委員会事務事業の点検・評価シート	12
1. 豊かな人間性をつちかう教育の推進 (No.1～3)	
2. 確かな学力の習得と活用する力の育成 (No.4～6)	
3. 健康な心と体を育てる教育の推進 (No.7)	
4. 学校・家庭・地域の連携 (No.8)	
5. 社会の変化に対応した教育の充実 (No.9～10)	
6. 安心して学べる質の高い教育環境づくり (No.11～13)	
第4 評価委員からの総合評価・意見	39

第1 点検・評価の概要

1. 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(昭和31年法律第162号。以下「地教行法」という。)により、すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に報告するとともに公表することが義務づけられています。

本報告書は、地教行法第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民への説明責任を果たすため、令和5年度における大洗町教育委員会の事務事業の点検・評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の対象

大洗町教育振興基本計画に基づき、令和5年度に実施した教育委員会の活動の状況及び主要施策とします。

3. 点検・評価の方法

大洗町教育委員会の主要施策について、事務事業ごとに自己評価を行ったうえ評価シートを作成し、大洗町教育委員会評価委員より評価シートをもとに意見・助言をいただきました。

4. 大洗町教育委員会評価委員名簿

任期:令和6年4月1日～令和7年3月31日

氏 名	役 職 等
加 茂 川 く る み	茨城女子短期大学 准教授
松 橋 義 樹	常磐大学 准教授

※敬称略

大洗町教育委員会評価委員規則

(設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、大洗町教育委員会（以下「教育委員会」という。）が教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うに当たって、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、大洗町教育委員会評価委員（以下「委員」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 委員は、次に掲げる事項を所掌する。

(1)教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について意見を述べ、又は助言を行うこと。

(2)前号に掲げるもののほか、必要と認める事項

(定数等)

第3条 委員の定数は、2人以内とする。

2 委員は、教育に関し学識経験を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、1年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(補則)

第5条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

5. 評価委員会実施日

令和6年10月31日(木)

第2 教育委員会の活動状況

1. 大洗町教育委員会について

大洗町教育委員会は、(地教行法第4条第1項・第2項により) 町長が町議会の同意を得て任命した教育長及び4名の委員をもって組織されています。また、(地教行法第4条第5項により)委員には保護者が含まれるようにしています。

平成27年度から地教行法の改正により、教育委員会を代表する教育委員長と事務局を統括する教育長が一本化されました。よって、教育長が、教育委員会会議の主宰や事務の執行、事務局の指揮監督など、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表することとなります。

令和5年度 大洗町教育委員会

職 名	氏 名	就 任 日
教 育 長	長 谷 川 馨	令和 3年 4月 1日就任
委 員	岡 部 千 草	平成29年10月1日就任 令和 3年 4月 1日 教育長職務代理者就任
委 員	伊 藤 雅 彦	平成26年10月 1日就任
委 員	小野瀬 繁子	令和 3年 4月 1日就任
委 員	山 戸 章 弘	令和 2年12月 9日就任

2. 教育委員会会議の開催状況について

教育委員会の会議においては、大洗町教育委員会事務委任規則第2条各号に掲げる事務や、特に協議を要する事項について審議し決定します。そのほかについては教育長にその事務を委任しています。

教育委員会の会議には定例会と臨時会があり、定例会は毎月開催し、臨時会は必要に応じて開催しています。令和5年度は、定例会を計12回開催しました。

教育委員会会議	開催回数	議案件数	協議件数	報告件数
定例会	12回	21件	2件	25件
臨時会	0回	0件	0件	0件

○定例会議内容

年 月	議 事 内 容
令和5年4月	【議案】 ・大洗町英語検定料補助金交付要綱の改正について
	【報告】 ・区域外就学申請の承諾について ・指定校変更許可申請の許可について ・寄付受け入れについて
	【その他】 ・大洗音楽祭2023について(報告) ・磯浜古墳群まっぷの作成について ・令和5年度バスケットボール事業について ・第1回館長講座について
令和5年5月	【議案】 ・令和5年度大洗町一般会計補正予算(第2号)(教育費関係)に対する意見について
	【報告】 ・指定校変更許可申請の許可について ・寄付受け入れについて

	【その他】 ・『大洗の本 第4号』の刊行について ・茨城ロボッツ スキルアップ講習会について ・第7回ひぬま夏海マラソンの開催について
令和5年6月	【議案】 ・大洗町独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済掛金に係る保護者負担金に関する規則の制定について ・物価高騰対策学校給食費支援事業給付金交付要綱の制定について ・大洗町多子世帯に対する学校給食費補助金交付要綱の制定について
	【報告】 ・令和5年度大洗町奨学生について ・区域外就学申請の承諾について
	【その他】 ・学校閉庁日について ・令和5年度公民館講座受講者数について ・北海道洋上体験学習事業について ・海っこ・山っこ交流事業について ・水泳教室について ・第7回ひぬま夏海マラソンの結果について ・第6回ミュージアムコンサートの開催について
令和5年7月	【議案】 ・令和6年度小・中学校において使用する教科用図書並びに小・中学校特別支援学級(知的障害)において使用する教科用図書について ・大洗町教育委員会評価委員の委嘱について
	【報告】 ・準要保護児童生徒の新規認定について
	【その他】 ・映画上映会「お終活」について

	・第6回考古学企画展『磯浜古墳群を未来に』について ・大洗町近郊中学校野球大会について ・第6回ミュージアムコンサートの実施報告について ・「大洗道」相談コーナーの開設について
令和5年8月	【議案】 ・令和5年度大洗町一般会計補正予算(第3号)(教育費関係)に対する意見について ・大洗町民会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
	【その他】 ・映画上映会「お終活」について ・大洗町近郊中学校野球大会の結果について ・第2回館長講座について ・教育委員学校訪問(オンライン英会話)について
令和5年9月	【協議】 ・大洗町の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価(案)について
	【報告】 ・大洗町教育委員会委員の任命について ・区域外就学申請の承諾について
	【その他】 ・水戸室内管楽器団による「子どものための音楽会」の鑑賞について ・第46回大洗町芸術文化祭の開催について ・第6回考古学企画展『磯浜古墳群を未来に』の実績報告について ・第10回企画展「ふじたたけき～徳川斉昭のプレーン藤田東湖の魅力に迫る～」の開催について ・小中学校の学期制について ・教育委員学校訪問(オンライン英会話)の調整について
令和5年10月	【議案】 ・史跡磯浜古墳群保存活用計画の策定について(答申)

	【協議】 ・大洗町祝町幼稚園の今後について
	【その他】 ・令和6年大洗町二十歳(はたち)の集いについて ・シンポジウム『磯浜古墳群を未来に』の開催について ・第77回三浜駅伝競走大会について ・第41回大洗マラソン サンビーチ・マイルレースについて
令和5年11月	【議案】 ・大洗町の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について ・令和5年度大洗町一般会計補正予算(第5号)(教育費関係)に対する意見について
	【その他】 ・第3回館長講座について
令和5年12月	【議案】 ・大洗町立学校管理規則の一部改正について ・物価高騰対策学校給食費支援事業給付金交付要綱の一部改正について ・令和5年度大洗町一般会計補正予算(第6号)(教育費関係)に対する意見について ・善行青少年の審査について
	【報告】 ・区域外就学申請の承諾について ・指定校変更許可申請の許可について ・祝町幼稚園の令和6年度入園応募状況と今後について
	【その他】 ・文化財防火デーについて ・考古学シンポジウム『磯浜古墳群を未来に』の結果について ・第77回三浜駅伝競走大会結果について

令和6年1月	【議案】 ・善行青少年の審査(追加)について
	【報告】 ・区域外就学申請の承諾について ・区域外就学届出(私立・県立・国立)の承諾について ・指定校変更許可申請の許可について
	【その他】 ・令和6年大洗町二十歳(はたち)の集いについて ・映画上映会「荒野に希望の灯をともし」の開催について ・大洗音楽祭2024の開催について
令和6年2月	【議案】 ・令和5年度大洗町一般会計補正予算(第9号)(教育費関係)に対する意見について ・令和6年度大洗町一般会計予算(教育費関係)に対する意見について
	【報告】 ・区域外就学申請の承諾について ・区域外就学届出(私立・県立・国立)の承認について ・指定校変更許可申請の許可について ・準要保護児童生徒の継続認定について ・準要保護児童生徒の新規認定について ・準要保護児童生徒(就学予定者)の認定について ・寄付受け入れについて
	【その他】 ・第23回大洗町生涯学習課フェスティバルについて ・映画上映会「荒野に希望の灯をともし」の開催結果について ・第41回大洗マラソン サンビーチ・マイルレースの結果について ・第4回館長講座について
令和6年3月	【議案】 ・令和6年度教職員の人事異動の内申について ・物価高騰対策給食費支援事業給付金交付要綱の制定について

	【報告】 ・大洗町教育委員会教育長の任命について ・指定校変更許可申請の許可について
--	---

3. 定例会及び臨時教育委員会以外の主な活動状況

日 程	件 名	会 場
令和 5 年 4 月 14 日(金)	大洗町教育研究会総会	大 洗 文 化 セ ン タ ー
令和 5 年 5 月 18 日(木) 令和 5 年 12 月 14 日(月)	奨学生選考審議委員会	大洗町教育センター
令和 5 年 5 月 25 日(木)	大洗町青少年育成会議総会	大 洗 文 化 セ ン タ ー
令和 5 年 5 月 26 日(金)	関東甲信越静市町村 教育委員会連合会総会	埼 玉 県 加 須 市
令和 5 年 5 月 31 日(水)	茨城県市町村教育委員会 連合会定期総会	書 面 開 催
令和 5 年 6 月 9 日(金) 令和 5 年 7 月 6 日(木)	教科用図書選定協議会	城 里 町
令和 5 年 12 月 5 日(火)	教育委員訪問	祝 町 幼 稚 園
令和 5 年 12 月 12 日(火)	教育委員訪問	南 小 学 校 南 中 学 校
令和 6 月 1 月 23 日(火)	教育委員訪問	大 洗 小 学 校 第 一 中 学 校
令和 6 年 2 月 26 日(月)	大洗町総合教育会議	大洗町教育センター

4. 令和5年度教育委員会の予算・決算状況について

令和5年度教育費の当初予算額及び決算額(歳出)等については、次のとおりです。

- ・教育費の当初予算額は8億4,830万1千円であり、町一般会計歳出予算に占める割合は9.9%となっています。(最終予算額は9億9,829万9千円)
- ・教育費の決算額は9億1,177万円であり、町一般会計決算額に占める割合は8.69%となっています。教育費最終予算額に対する執行率は、91.3%です。
- ・令和5年度の町民1人あたりの教育費は58,391円です。
また、児童生徒1人あたりの教育費は、161,190円(小学校)、258,134円(中学校)です。

○ 町当初予算に占める教育費の割合の推移

(千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
町予算総額	8,366,000	8,735,000	8,584,000
うち教育費	772,653	782,300	848,301
割合	9.2%	9.0%	9.9%

○ 令和5年度教育費予算額

(千円)

項	当初予算額	補正予算額	繰越額	予備費・流用	予算現額
教育総務費	363,688	△5,626	142,775		500,837
小学校費	103,970	8,180		1,190	113,340
中学校費	107,066			△1,190	105,876
幼稚園費	19,496	2,023			21,519
社会教育費	200,180	2,430		216	202,826
保健体育費	53,901				53,901
計	848,301	12,633	142,775	1,406	998,299

○ 教育費決算額の推移

(千円)

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
教育総務費	277,900	36.57%	345,122	46.54%	475,508	52.15%
小学校費	77,586	10.21%	87,965	11.86%	96,069	10.54%
中学校費	85,927	11.31%	95,926	12.93%	86,475	9.48%
幼稚園費	21,347	2.81%	18,088	2.44%	16,728	1.83%
社会教育費	260,169	34.24%	161,196	21.74%	189,978	20.84%
保健体育費	36,915	4.86%	33,331	4.49%	47,011	5.16%
計	759,844	100.00%	741,628	100.00%	911,770	100.00%

○ 教育費執行率の推移

(千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額	849,549	956,444	998,299
決算額	759,844	741,627	911,770
執行率	89.4%	77.5%	91.3%

○令和5年度 町民1人あたりの教育費

人口(R6.3.31現在) (人)	教育費決算額 (千円)	町民1人あたりの教育費 (円)
15,615	911,770	58,391

○ 令和5年度 児童生徒1人あたりの教育費(小・中学校費)

(児童生徒数:R5.5.1現在)

	児童(小学校)	生徒(中学校)	計
児童生徒数(人)	596	335	931
決 算 額(千円)	96,069	86,475	182,544
1人あたり(円)	161,190	258,134	196,073

第3 教育委員会事務事業の点検・評価シート

基本的方針	No.	事業名	担当課	ページ
豊かな人間性をつちかう 教育の推進 (徳…優しく)	1	北海道洋上体験学習事業	生涯学習課	13
	2	町民会館自主事業(大洗音楽祭)	生涯学習課	15
	3	大洗町幕末と明治の博物館 第10回企画展 「ふじたたけき〜徳川斉昭のプレーン藤田東湖 の魅力に迫る〜」	生涯学習課	17
確かな学力の習得と 活用する力の育成(知…賢く)	4	学びの姿勢づくり推進事業(中学生大洗塾)	学校教育課	19
	5	就学時健康診断事業	学校教育課	21
	6	ブックスタート事業	生涯学習課	23
健康な心と体を育てる 教育の推進 (体・情…たくましく)	7	茨城ロボッツスキルアップ講習会事業	生涯学習課	25
学校・家庭・地域の連携	8	部活動外部指導者事業	学校教育課	27
社会の変化に対応した 教育の充実	9	考古学シンポジウム事業「磯浜古墳群を未来 に」	生涯学習課	29
	10	史跡磯浜古墳群公有化事業	生涯学習課	31
安心して学べる質の高い 教育環境づくり	11	学校経営サポート訪問事業	学校教育課	33
	12	学校施設大規模改修事業	学校教育課	35
	13	学校給食費補助事業(多子世帯対象)	学校教育課	37

令和5年度 点検評価シート

No.1

事務事業名	北海道洋上体験学習事業	担当課	生涯学習課
-------	-------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	1	豊かな人間性をつちかう教育の推進(徳…優しく)
	施策	3	就学前教育・学校教育の充実
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	共同生活や団体行動を通じて、友達を思いやる心、自主性・社会性を養う。北海道の自然が育む生活や社会及び歴史に触れ、自然に親しむ心と豊かな人間性を培う。
事業の対象 (誰を・何を)	町内小学校6年生(希望者)
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他() カーフェリーを利用した、北海道での4泊5日の共同学習を実施する。保護者や地域の方が「育成者」として、大洗町高校生会が「リーダー」として、ボランティアで学習に同行し、子どもたちの活動を支援している。児童10名程度、育成者1名、リーダー1名ないし2名から構成される班に分かれ、北海道内で、研修全体での共同生活を通じた「生活体験」、アイヌ文化や、小樽運河の歴史を学ぶ「社会体験」、尻別川でのラフティングを通じた「自然体験」を行う。
事業の成果 (意図する成果)	活動する班は、それぞれ活動の目標を定め、目的意識をもって研修に取り組む。本研修中は毎日班別にミーティングを行い、1日の反省や明日の予定の確認を行うことで、一人一人が主体的に行動する力を養うことができる。北海道の歴史、文化、自然に親しむ心や、研修での共同生活を通じ、協力する力や親切心など、豊かな人間性を培うことができる。

【事業費の推移】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	予算額(千円)	5,945千円	6,668千円	7,697千円
	決算額(千円)	2,790千円	6,668千円	7,697千円
	内訳	一般財源	-	-
		国県補助金	-	-
		その他	2,790千円	6,668千円
	執行率(%)	46.9%	100%	100%

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標	活動日数	-	7日	8日
	ボランティア人数(育成者、高校生会)	-	26名	25名
	参加率(参加者/6年生児童)	-	77.3%(92名/119名)	78.1%(82名/105名)
成果指標	満足度(アンケート結果5段階評価の良かった・とてもよかった)	-	94.5%	98.3%
	規律意識(アンケート結果5段階評価、決まりを守って生活できた・とてもできた)	-	93.0%	91.5%
	思いやり(アンケート結果5段階評価 友達と仲良く活動できた・とてもできた)	-	97.2%	96.6%
効率指標	参加負担金(児童1人当たり)	-	29,000円	32,000円
	旅費(児童1人当たり)	-	61,141円	68,799円

【自己評価】

評価項目	評価結果		
妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である
		C. 妥当でない	
成果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている
		C. 上がっていない	
効率性 (コスト面等からみて効率的であるか)	B	A. 効率的である	B. 概ね効率的である
		C. 効率的でない	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	
☐	現状のまま継続
☒	改善のうえ継続
☐	事業を拡大
☐	事業を縮小
☐	休廃止を検討
☐	事業完了

⇒

今後の展望、改善案、廃止・休止案等
北海道内の効率的な移動ルートの選定や宿泊場所の見直し等によりコストカットに努めつつ、また、体験場所や宿泊施設を見直した際には時間のロスが出ないように事前準備をしっかりと行い、引き続き北海道ならではの体験を通じ、児童の成長につなげることでできるよう、事業の改善に努める。

【評価委員の意見】

○小学校6年生としての最後の思い出づくり、絆づくりとして、また、大洗町としての「土地の強み」を生かした大切な事業である。削減の具体的な方策として、宿泊施設の見直し、コースの見直しなどを考えているとのこと、改善の上継続という事業の方向性は妥当である。支援援助にあたる高校生会の成長も重要な価値を持っている。北海道ならではの自然体験の価値について情報発信の方法を今後検討していただきたい。

○教員ではなく保護者・地域住民や高校生が参加者への支援を行うなど、事業の推進における工夫が試みられていることを含め、大洗町の児童が日常生活では体験することの難しい機会を効果的に提供することができる貴重な事業であると考えられる。今後は、事業の成果として思いやりの心や自立心が養われるという点について、そうした成果が一時的なものではなく中長期的な成果に結び付くよう、児童生徒を対象とする様々な事業との関連付けながら企画・運営されることが望ましい。

令和5年度 点検評価シート

No.2

事務事業名	町民会館自主事業(大洗音楽祭)	担当課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	1	豊かな人間性をつちかう教育の推進(徳…優しく)
	施策	4	優れた芸術や文化に触れる機会の設定
根拠法令等	大洗町民会館の設置及び管理に関する条例		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	幅広いジャンルの音楽を提供し、多くの住民へ音楽鑑賞の機会を与える。 音楽のすばらしさを体感してもらうことにより、芸術文化の振興を図る。
事業の対象 (誰を・何を)	町民、町外者
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他() 茨城県内、特に地元出身の出演者を迎え、プロの音楽活動家を中心に演歌、ジャズバンド、大洗高校マーチングなど幅広いジャンルの音楽を提供し、世代を超えた音楽鑑賞会を実施する。
事業の成果 (意図する成果)	住民が幅広いジャンルの音楽に触れることで、豊かな感性と創造性を育むことができ、地元出身の音楽活動家が出演することで音楽を身近に感じられ、芸術文化に関心を持つことができる。 また、地元出身の音楽活動家に活躍できる機会の提供ができ、芸術・文化振興の一助となっている。

【事業費の推移】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	予算額(千円)	1,727千円	1,670千円	1,749千円
	決算額(千円)	1,060千円	1,412千円	1,496千円
	内訳			
	一般財源	1,060千円	1,412千円	1,496千円
	国県補助金	-	-	-
	その他	-	-	-
執行率(%)		61.4%	84.6%	85.5%

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標	演目数	7	5	5
	出演者数	200人	97人	62人
成果指標	入場者数(延人数)	900人	550人	650人
	座席数	800席	800席	800席
効率指標	入館率(最大入館率)	90.0%	55.0%	65.0%
	入館率(平均入館率)	78.8%	48.1%	56.9%

【自己評価】

評価項目		評価結果		
妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		大洗町及び大洗町教育委員会が実施主体となり、舞台専門業者の知識と経験を活用しながら運営できており妥当である。 また、プロを中心とした音楽家や大洗町出身の音楽家が出演することで、質の高い音楽鑑賞会を住民に提供することができた。		
成果 (意図した成果が上がっているか)	B	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		成果指標の入場者数が増加している点と効率指標の入館率(平均入館率)が増加しており、50%以上となっていることから、意図した成果が概ね上がっている。		
効率性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		大洗町出身者や大洗音楽祭に理解のある方が出演していただいているため、謝礼金など安価で済み、コスト面からみて効率的となっている。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)		今後の展望、改善案、廃止・休止案等	
☒	現状のまま継続	⇒	今後も大洗町出身者や大洗町に関係のあるプロの音楽家を中心に、音楽祭を継続していく。
☐	改善のうえ継続		
☐	事業を拡大		
☐	事業を縮小		
☐	休廃止を検討		
☐	事業完了		

【評価委員の意見】

○今年度の入場者数は高齢者が多かったとのことで高齢者の皆さまが楽しめる企画であったことはとても良いと考える。平均入館率などの数値に関しては、指標の意味も考え無理に算出しなくても良いのではないかと。多くの町民が楽しめるような企画、大洗町オリジナルな企画を継続していただいたい。

○大洗町出身者や大洗町に関係のある音楽家を中心とした演目を構成することで、地域における文化振興の重要な機会として機能することが期待される事業である。その点で、入場者数・入館率という指標に注目する必要がある一方、単体のイベントとしての成果にとどまらない指標の設定が可能かどうかともご検討いただきたい。

令和5年度 点検評価シート

No.3

事務事業名	大洗町幕末と明治の博物館 第10回企画展 「ふじたけき～徳川斉昭のブレーン 藤田東湖の魅力に迫る～」	担当課	生涯学習課
-------	---	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画	基本的方向	1	豊かな人間性をつちかう教育の推進(徳…優しく)
施策の体系	施策	4	優れた芸術・文化鑑賞の機会の確保
根拠法令等	博物館法、大洗町幕末と明治の博物館条例		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	藤田東湖(1806～55)は、水戸藩第9代藩主徳川斉昭のブレーンとして藩政改革に尽力した水戸藩士であり、また水戸学の著名な学者でもあった。館蔵資料を中心として藤田東湖やその時代に活躍した志士たちの書画や手紙を紹介する。
事業の対象 (誰を・何を)	観光客、地域住民に対し、令和5年10月7日から11月21日の会期で実施
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他() ・漢詩や手紙を釈文や解説などをつけて展示 ・人物叢書『藤田東湖』執筆者である研究の第一人者を招いた講演会の開催 ・水戸市内の藤田東湖と縁のある場所を巡るイベントを開催 ・図録の発行
事業の成果 (意図する成果)	・博物館に「藤田東湖」に関する資料があることを知ることができる。 ・研究者の講演会に参加することで、藤田東湖に対する理解を深めることができる。 ・藤田東湖に縁のある場所を巡ることで、展示に対する理解を深めることができる。

【事業費の推移】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	予算額(千円)	2,185千円	2,835千円	2,874千円
	決算額(千円)	1,786千円	2,390千円	2,557千円
	内訳			
	一般財源	-	-	-
	国県補助金	-	-	-
	その他	1,786千円	2,389千円	2,557千円
執行率(%)		81.7%	84.3%	89.0%

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標	会期日数	46日間	47日間	46日間
	関連講演会	1回	1回	1回
成果指標	会期中の入館者数(全体)	1,715人	2,860人	1,548人
	うち町民の入館者数	120人	501人	78人
	会期中1日あたりの入場者数	37.2人	60.8人	33.6人
効率指標	来館者1人当たりの経費	1,041円	835円	1,651円

【自己評価】

評価項目	評価結果		
妥 当 性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である
		C. 妥当でない	
成 果 (意図した成果が上がっているか)	B	A. 上がっている	B. 概ね上がっている
		C. 上がっていない	
効 率 性 (コスト面等からみて効率的であるか)	B	A. 効率的である	B. 概ね効率的である
		C. 効率的でない	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	今後の展望、改善案、廃止・休止案等
☐ 現状のまま継続 ☒ 改善のうえ継続 ☐ 事業を拡大 ☐ 事業を縮小 ☐ 休廃止を検討 ☐ 事業完了	⇒ 地域や収蔵品にちなんだ展覧会を来年度も継続して実施する。 令和6年度は大洗に縁のある詩人山村暮鳥に関する特別展を開催する予定。

【評価委員の意見】

○幕末の歴史に興味のある人にとっては、かなり関心の高いものであるに違いない。「藤田東湖」と「ふじたたけき」が同一人物という事実が十分に知られていない状況が関係していたのかはリサーチする必要があるが、昨年度に比べて集客数が減少していたことは残念である。企画のポイントとしては「わかりやすさ」と「なんだこれ」というギャップを楽しめるような仕掛けがあるとよい。ネーミングの工夫によって「ちょっと面白そう」と興味を持った方々を集客に導いていってほしい。 ○博物館の企画展には常設展とは異なる役割があり、常設展では実現の難しい企画への取り組みが期待される。今回の企画展は入場者数などの課題がありつつ、従来のコレクション展示とは異なるアプローチを試みたものとして今後の博物館運営の参考になる点が少なくないものと考えられる。コレクションの有効な活用という観点から、今後も様々なアプローチでの展示をご検討いただきたい。

令和5年度 点検評価シート

No.4

事務事業名	学びの姿勢づくり推進事業(中学生大洗塾)	担当課	学校教育課
-------	----------------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	2	確かな学力の取得と活用する力の育成(知…賢く)
	施策	1	確かな学力の取得と活用する力の育成
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	高校受験に向け、生徒が落ち着いて、安心して自主学習に取り組める環境を提供し、学習習慣の定着を図る。
事業の対象 (誰を・何を)	町立中学校第3学年生徒
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 ■ 補助金 □ その他() - 令和5年7月から令和6年2月までの土曜日及び長期休業日に、町内中学校第3学年生徒の希望者を公民館等を使い、学習支援を実施 - 年間21回実施 - 学習サポーター6名を委嘱し、会場準備・学習支援を主として活動
事業の成果 (意図する成果)	- 受験に向けた学びの姿勢づくりに役立つことができる。 - 学習サポーターを活用して、生徒自身が学習に進んで取り組むことができる。

【事業費の推移】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	予算額(千円)	-	-	646千円
	決算額(千円)	-	-	513千円
	内訳	一般財源	-	210千円
		国県補助金	-	303千円
		その他	-	-
	執行率(%)	-	-	79.4%

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標	対象生徒数	-	-	111人
	参加生徒数	-	-	72人
成果指標	中学生の参加率	-	-	64.9%
	中3生で2時間以上家庭学習する割合 (参考 R5年4月全国学調より)	-	-	52.8%
効率指標	決算額/参加生徒数	-	-	7,125円

【自己評価】

評価項目	評価結果		
妥 当 性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である
		C. 妥当でない	
成 果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている
		C. 上がっていない	
効 率 性 (コスト面等からみて効率的であるか)	B	A. 効率的である	B. 概ね効率的である
		C. 効率的でない	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	今後の展望、改善案、廃止・休止案等
☐ 現状のまま継続 ☒ 改善のうえ継続 ☐ 事業を拡大 ☐ 事業を縮小 ☐ 休廃止を検討 ☐ 事業完了	⇒ 県事業の「学びの広場サポートプラン」(小4・小5・中1・中2対象)が令和2年度をもって廃止となった。しかし、令和3年度は、県事業と並行して実施していた大洗塾については、国の補助事業「地域未来塾」も活用しながら継続している。教職員の働き方改革により、これまで各校で実施していたものを、令和5年度から町で一括しての実施を開始した。次年度以降もこの方法で継続していくことが望ましいと考える。

【評価委員の意見】

○公民館使用の良さがある。町内2つの中学生が交流し、また刺激し合う良い機会にもなる。進学に対しても視野が広がる。このような地域の実態にあったこまわりのきく事業は重要である。新規事業であるので、是非アンケート調査、要望の集約などとしてほしい。支援する側(サポーター)としては大学生ボランティアを募集しているがなかなか集まりにくい状況ということで、苦労したとのことである。サポーターにとっても今後に生かせる良い経験となるので、引き続き呼びかけていって一定のサポーターを確保してもらいたい。退職教員などの活用も視野に入れてもよいのかもしれない。 ○予算面や実施単位の変更を経て、現行の方式は町内の中学生のニーズに対応する上で効果的な方式であると考えられる。その上で、対象生徒およびその保護者などへの十分な周知が必要であり、参加への物理的・心理的障壁をできる限り取り除くことのできるような環境づくりにこれまで以上に重点的に取り組んでいただきたい。

令和6年度 点検評価シート

No.5

事務事業名	就学時健康診断事業	担当課	学校教育課
-------	-----------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	2	確かな学力の習得と活用する力の育成(知…賢く)
	施策	3	特別支援教育の推進
根拠法令等	学校保健安全法		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	就学予定者に対しあらかじめ健康診断を行い、心身の状況を把握し、保健上必要な助言や就学についての適性な支援を行うことで、適切な就学を図ることを目的とする。		
事業の対象 (誰を・何を)	町内に住所を有する次年度就学予定者		
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他() 次年度就学予定者の保護者へ通知を行い、10月に大洗町健康福祉センター(ゆっくら館)を会場とし、学校医や小学校、幼稚園、保育園、教育センターの協力を得て、学校保健安全法に基づいた健康診断を行う。また、就学にあたって心配なことや特別な支援が必要な就学予定者について教育相談を実施する。		
事業の成果 (意図する成果)	・就学予定者の心身の状況について保護者及び本人の認識と関心を深めることで、入学時までに必要な治療を行ったり適正な健康管理を行ったりすることができる。 ・学校が入学予定者の心身の状況について把握することができる。 ・保護者の就学への不安を取り除く重要な機会となり、適切な就学を図ることができる。		

【事業費の推移】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	予算額(千円)	479千円	476千円	500千円
	決算額(千円)	436千円	491千円	429千円
	内訳			
	一般財源	436千円	491千円	429千円
	国県補助金	-	-	-
	その他	-	-	-
執行率(%)		91.0%	103.2%	85.8%

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標	対象者数	114人	81人	84人
	協力者数	48人	47人	42人
成果指標	受診率	100%	100%	100%
効率指標	決算額/受診者数	3.8千円	5.7千円	5.1千円

【自己評価】

評価項目	評価結果		
妥 当 性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である
		C. 妥当でない	
成 果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている
		C. 上がっていない	
効 率 性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である
		C. 効率的でない	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	今後の展望、改善案、廃止・休止案等
☒ 現状のまま継続 ☐ 改善のうえ継続 ☐ 事業を拡大 ☐ 事業を縮小 ☐ 休廃止を検討 ☐ 事業完了	⇒ 教育委員会が主体となり行っていることで、各小学校への負担が軽減されるだけでなく、保育園や幼稚園にも協力を得られることで情報を共有し、連携がとれることでスムーズに事業が行えている。また、健診結果を保護者や学校にも情報提供を行うことで、早期受診や、小学校入学後の児童へのサポートにも繋がると考えるため、今後も事業の実施を継続していく。

【評価委員の意見】

○対象児の減少は課題であるが重要な事業である。配慮の必要な児童については追跡調査や相談体制の充実など町の支援を継続的に実施してもらいたい。協力者である学校側の職員の派遣については、学校側としても早めの受け入れ体制づくりなどに生かしていけるので、これからも協力を依頼しながら進めて行ってもらいたい。

○就学前検診のそのものの必要性は極めて高いものであるが、就学前検診のように当該年齢の子どもが全員参加(受診)する機会は、当該年齢の子どもおよびその保護者等に対する様々な周知の機会としても大変効果的であると考えられる。こうした機会を活用して、保護者などの子育てに対する不安を軽減し気軽に相談できるような体制を構築していくことが重要である。

令和5年度 点検評価シート

No.6

事務事業名	ブックスタート事業	担当課	生涯学習課
-------	-----------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画	基本的方向	2	確かな学力の習得と活用する力の育成(知…賢く)
施策の体系	施策	4	家庭学習支援の推進
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	赤ちゃん絵本を開く楽しい体験とともに、絵本を手渡すことで、赤ちゃん保護者がゆとり向き合い、楽しくあたたかい時間を持つきっかけをつくる。
事業の対象 (誰を・何を)	4・5ヶ月の乳児と保護者
事業の手段 (どんなやり方)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他() 4・5ヶ月の乳幼児健診時、保護者一人一人にブックスタート支援ボランティアによる事業の説明と絵本の読み聞かせを行い、絵本を手渡す。 (配布物: 絵本2冊、ブックスタートバック、巾着、パンフレット)
事業の成果 (意図する成果)	文字が読めない乳児でも、保護者が絵本を読み聞かせることで興味をもち、親子が楽しい時間をわかち合うことができる。このことにより親子の絆を深め、同時に心のケアにもつながるような事業となっている。

【事業費の推移】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	予算額(千円)	188千円	162千円	144千円
	決算額(千円)	152千円	120千円	122千円
	内訳	一般財源	120千円	122千円
		国県補助金	-	-
		その他	-	-
	執行率(%)	80.9%	74.1%	84.7%

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標	実施回数	6回	6回	6回
成果指標	配布人数	45人	46人	63人
	(対象人数)	(63人)	(55人)	(75人)
効率指標	配布率	71.4%	83.6%	84.0%
	(配布人数/対象人数)			

【自己評価】

評価項目		評価結果		
妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		絵本を介して親から子へ優しく語りかけることにより、乳児期から心を育む機会となっている。また、家庭教育にとっても重要であり、妥当性の高い事業となっている。		
成果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		直接絵本を手渡すことにより、実際に子どもへ絵本を読み聞かせることができる。その結果、子どもが絵本に興味を持つきっかけづくりとともに親子が触れ合いコミュニケーションを深めるきっかけづくりができている。		
効率性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		乳幼児健診の際に事業を実施することで、高い確率で対象者に絵本を届けることができている。保護者への事業説明をボランティアが行うことにより、きめ細かい対応ができる事業となっている		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	
☒	現状のまま継続
☐	改善のうえ継続
☐	事業を拡大
☐	事業を縮小
☐	休廃止を検討
☐	事業完了

⇒

今後の展望、改善案、廃止・休止案等
高齢化によるボランティアの減少などの問題点もあるが、親と子が絵本を介してふれあう機会を提供し、心安らぐ楽しい子育て支援にも繋がる大切な事業として今後も継続して実施していく。

【評価委員の意見】

○大変よい事業である。現在YouTubeなどの視聴が低年齢化しており、様々な問題も浮かび上がっている。幼児教育において子どもにとって絵本との出会いは、人間形成に関係する重要な出会いである。子どもにとって絵本は、大切な宝物となる。絵本の選択方法についても計画的に、より良い絵本を選んでいてもらいたい。また、この機会に図書館の活用、読み聞かせの充実などが図られるような企画も期待したい。 ○ブックスタートは乳児が本に触れる貴重な機会であるとともに、読み聞かせに関わるボランティア活動を通して子育てが一段落した世代と子育て真っただ中の世代が交流する機会としても期待される。子育てに関する世代を超えた支援のきっかけを作ることができるよう、この事業も継続・発展させていただきたい。

令和5年度 点検評価シート

No.7

事務事業名	茨城ロボッツスキルアップ講習会事業	担当課	生涯学習課
-------	-------------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	3	健康な心と体を育てる教育の推進(体・情…たくましく)
	施策	2	体力の向上と学校活動の推進
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	学校バスケットボール部員を対象にプロバスケットチームからの貴重な指導を通じて個々のスキルアップやフェアプレイ精神の育成を図る。また、講習会を通じて、他校の中学生と親睦と競技力の向上を図る。
事業の対象 (誰を・何を)	町教育委員会及び町内中学校男女バスケットボール部員
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ☒ 町 ☐ 委託 ☐ 補助金 ☐ その他() 令和4年12月に茨城ロボッツと大洗町、大洗観光協会の3者によるフレンドリータウン協定を締結したことで、今回新しい取り組みとして、茨城ロボッツのコーチ陣を招き、バスケットボールの講習会を実施。講習会を質の良いものにしたいという観点から、町内中学校のバスケ部のみに絞り、大人数では行わずに70名規模で実施した。
事業の成果 (意図する成果)	プロバスケットチームから学べる貴重な機会を提供し選手自身のスキルアップを図ることや、ケガを防ぐウォーミングアップの仕方などを学ぶことにより、個々の技術・意識向上に寄与することにより、チーム全体の成長を図る。

【事業費の推移】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	予算額(千円)	-	-	205千円
	決算額(千円)	-	-	200千円
	内訳	一般財源	-	200千円
		国庫補助金	-	-
		その他	-	-
	執行率(%)	-	-	97.6%

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標	参加人数	-	-	65人
成果指標	参加者からの意見	-	-	好評
効率指標	決算額／参加人数	-	-	3,077円

【自己評価】

評価項目	評価結果		
妥 当 性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である
		C. 妥当でない	
成 果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている
		C. 上がっていない	
効 率 性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である
		C. 効率的でない	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	今後の展望、改善案、廃止・休止案等
☒ 現状のまま継続 ☐ 改善のうえ継続 ☐ 事業を拡大 ☐ 事業を縮小 ☐ 休廃止を検討 ☐ 事業完了	⇒ 講習会に参加した生徒・指導者、見学をしていた保護者からは好評であり、回数を増やして開催出来ないかなどとの意見をいただいている。町の生徒たちにプラスになる事業として、今後も茨城ロボッツとのフレンドリータウン協定の取組の一つとして、現状のまま継続していきたいと考える。また、継続していく際は、参加者よりアンケートを回答してもらい、意見の把握等を行ってきたい。

【評価委員の意見】

○茨城ロボッツのフレンドリータウン協定を結んでいる市町村が増えているとのことであるが、その中でも先手を打って企画を実施したことは大変意味がある。生涯スポーツとして今後も様々な企画に取り組んでいてもらいたい。

○このような事業は自治体サイドのメリットだけでなく、プロスポーツチームにとっても競技の普及さらには次世代の育成に向けた貴重な機会であると考えられる。その意味で、事業の企画・運営にあたっては双方の希望やアイデアができる限り反映されるような工夫を試みていただきたい。

令和5年度 点検評価シート

No.8

事務事業名	部活動指導員設置促進事業	担当課	学校教育課
-------	--------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向 4	学校・家庭・地域の連携
	施策 1	学校・家庭・地域が連携した教育の推進
根拠法令等	学校教育法施行規則(昭和22年省令第11号)第78条の2	

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	多様化・複雑化する生徒のスポーツニーズに即した運動部活動指導体制を整え、運動部活動の円滑な運営を図りたくましい心と体をもった生徒を育成するとともに、教員の「働き方改革」の実現を図る。
事業の対象 (誰を・何を)	町立中学校
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 ■ 補助金 □ その他() 当該部活動の専門的知識・技術指導に堪能である者、指導員としてふさわしい人格を有していると判断した者を教育委員会が任用する。指導員は、技術指導、安全・障害予防に関する知識・技能の指導、学校外での活動(大会・練習試合等)の引率、部活動の管理運営等を行う。指導員の勤務時間は、1人につき年210時間以内とし、部活動の指導に係る時間は必ず単独で行わなければならない。
事業の成果 (意図する成果)	専門的知識・技能をもつ指導員の部活動指導により、生徒の技術向上を図ることができる。指導員が部活動指導をすることにより、顧問はその時間を学年・学級事務に充てることができる。

【事業費の推移】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	予算額(千円)	672千円	672千円	1,344千円
	決算額(千円)	672千円	672千円	672千円
	内訳			
	一般財源	224千円	224千円	224千円
	国県補助金	448千円	448千円	448千円
	その他	-	-	-
	執行率(%)	100.0%	100%	50%

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標	1人当たり勤務時間上限	210時間	210時間	210時間
成果指標	設置人数	2人	1人	2人
	設置部活動	剣道部・柔道部	剣道部	剣道部・テニス部
	勤務時間	210時間	210時間	210時間
効率指標	一人あたりの経費(決算額/部員数)	35千円(部員19人)	51千円(部員13人)	16千円(部員42人)

【自己評価】

評価項目	評価結果		
妥 当 性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である
		C. 妥当でない	
成 果 (意図した成果が上がっているか)	B	A. 上がっている	B. 概ね上がっている
		C. 上がっていない	
効 率 性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である
		C. 効率的でない	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	今後の展望、改善案、廃止・休止案等
☒ 現状のまま継続 ☐ 改善のうえ継続 ☐ 事業を拡大 ☐ 事業を縮小 ☐ 休廃止を検討 ☐ 事業完了	⇒ 今後も、4名の雇用枠を確保し、現状のまま継続していきたい。

【評価委員の意見】

○部活の種類は多くはないが、剣道、テニス、女バス、柔道など専門性や指導経験のある方や、非常勤の講師の先生方を登録して活用している点は大変効率が良い。人材確保が今後も大変あるが学校現場にとって大変助けになる事業であるので是非継続してってもらいたい。中学生にとって学校生活がより充実したものになるためにも部活動は重要である。勝負だけにこだわらずに楽しんで活動できる部活動に支援してってもらいたい。 ○指導員の人材確保という点についても中長期的な見通しをもって事業が進められており、部活動の地域移行が見据えられた状況において指導員の活用がこれまで以上に効果的に機能すると考えられる。引き続き、適切な人材を確保できるよう事業を進めていただきたい。

令和5年度 点検評価シート

No.9

事務事業名	考古学シンポジウム事業「磯浜古墳群を未来に」	担当課	生涯学習課
-------	------------------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	5	社会の変化に対応した教育の充実
	施策	3	伝統や文化を尊重し国際性を育む教育の推進
根拠法令等	文化財保護法、町磯浜古墳群保存活用計画策定委員会条例、町磯浜古墳群史跡整備検討委員会条例		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	地域の歴史資源の柱となっている、国史跡の磯浜古墳群について、令和3～5年度に策定してきた磯浜古墳群保存活用計画に基づきながら、その持つ本質的価値を明らかにし、どのように未来に残せば良いのか、考える機会とする。
事業の対象 (誰を・何を)	町内生徒、町民、県内外の歴史愛好家・考古学・古墳ファン・研究者・専攻大学生など
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 ■ 補助金 □ その他() 令和5年12月10日(日)午前10時～午後4時、トヨペットスマイルホール大洗大ホールを使用。事前申込制200名。基調講演：広瀬和雄『磯浜古墳群の価値』、夢沼香未由『保存活用計画の概要』、若狭徹『価値と継承1』、大里明『活用』、菊地芳朗『価値と継承2』、田中裕『価値と継承2』、國井町長を加え、パネルディスカッション。ポスターチラシを印刷し茨城県内を中心に約400通を発送。発表資料集を頒布。町公式Youtubeで公開中。アンケートを実施。町職員の対応を減らし、専攻の大学生や歴史・古墳愛好家と連携をして運営している。
事業の成果 (意図する成果)	事業を実施することにより、磯浜古墳群の本質的価値(4本の柱：[1]古墳研究において欠くことのできない学史的意義を持つ。[2]一つの古墳群で古墳時代前期初頭から中期初頭まで連綿と築造された首長墓の移り変わりが観察できる。[3]水上交通の要衝を把握した地域首長像を示す海浜・湖沼に望む古墳の典型。[4]列島東縁部における弥生時代から古墳時代への接続をさぐる鍵)を共有し、大洗町の地域的特性、地域性の理解につなげる。

【事業費の推移】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	予算額(千円)	2,130千円	1,898千円	2,810千円
	決算額(千円)	1,860千円	1,931千円	2,362千円
	内訳			
	一般財源	814千円	1,100千円	1,226千円
	国県補助金	696千円	731千円	936千円
	その他	350千円	100千円	200千円
執行率(%)		87.3%	101.7%	84.1%

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標	参加者数	283人(100%)	88人(100%)	148人(100%)
	うち町民	43人(15.2%)	36人(40.9%)	39人(26.4%)
	うち町民以外の県民	183人(64.7%)	35人(39.8%)	82人(55.4%)
	うち県外	17人(20.1%)	17人(19.3%)	27人(18.2%)
成果指標	アンケート回答数	30件(100%)	21件(100%)	18件(100%)
	うち好意・建設的な意見	23件(76.7%)	18件(85.7%)	17件(94.4%)
	うち改善点の指摘など	7件(23.3%)	3件(14.3%)	1件(5.6%)
効率指標				

【自己評価】

評価項目		評価結果		
妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		国史跡を扱う町教育委員会生涯学習課が価値を伝えるシンポジウムを開催するのは、妥当である。		
成果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		会場へ集まった方々を対象とした、アンケート内容は、今後の更なる古墳の保存・活用、整備等を求める好意的、建設的なものがほとんどである。本質的価値について触れた内容もあり、一定程度の認知は進んでいるものと思われる。		
効率性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		運営の一部は、他系の職員の手伝いを縮小し、考古学専攻の大学生や地域等の歴史・古墳愛好家と連携しており、コスト面の効率性は勿論、意識ある人々による価値の共有、波及効果がみられるようになってきている。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)		今後の展望、改善案、廃止・休止案等	
☒	現状のまま継続	⇒	今後とも、町内に所在する遺跡・遺構・遺物などの歴史資源について、本質的価値を伝えるシンポジウム等活用事業を継続し、大洗地域の特性を多くの方々が理解する基盤を作っていくたい。
☐	改善のうえ継続		
☐	事業を拡大		
☐	事業を縮小		
☐	休廃止を検討		
☐	事業完了		

【評価委員の意見】

○大洗町の魅力をうまく引き出しており、ロマンを感じさせるシンポジウムの企画である。予算額の増加は講師の先生方の旅費等の関係もあるが、それだけ魅力ある先生方をお呼びしての企画は価値も高い。古墳という本質的テーマを引き継ぎながらで切り口を変えての企画は、興味を持ってくださる参加者の巾を広げるのに有効である。 ○関係者が連携してシンポジウムを企画・運営する体制が構築されつつあり、単なる一過性のイベントではなく今後の当該文化財振興につながる機会となっていることは高く評価できる。これからもこのシンポジウムが当該文化財振興のサイクルにおいて重要な役割を果たすことができるよう、マンネリ化しない事業推進を期待したい。
--

令和5年度 点検評価シート

No.10

事務事業名	史跡磯浜古墳群公有化事業	担当課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	5	社会の変化に対応した教育の充実
	施策	3	伝統や文化を尊重し国際性を育む教育の推進
根拠法令等	文化財保護法、町磯浜古墳群保存活用計画策定委員会条例、磯浜古墳群保存活用計画、町磯浜古墳群史跡整備検討委員会条例		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	地域の歴史資源の柱となっている、国史跡の磯浜古墳群について、令和3～5年度に策定してきた磯浜古墳群保存活用計画に基づきながら、永久保存、及び将来的な史跡整備用地として、指定民有地の公有化を進める。
事業の対象 (誰を・何を)	国史跡指定磯浜古墳群指定地
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 ■ 補助金 □ その他() 文化庁の史跡等購入費補助金(補助率80%)をあて、4～5年を掛けて、指定地25筆の内民有地の20筆について、町有地として公有化を進める計画である。当年度の不動産鑑定評価に基づき、買上げ価格(単価×面積)を算出し、直接交渉を進める。
事業の成果 (意図する成果)	初年度の令和5年度は、10月の保存活用計画策定後、計画に基づきながら、11月から1月にかけて、日下ヶ塚古墳の前方部付近5筆(地権者2名、実測面積2,549.79㎡、磯浜町2839・2862・2863・2864・2865-1)の直接買上げ行い、登記を済ませた。筆数で言うと、4分の1を公有化したことになる。

【事業費の推移】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	予算額(千円)	-	-	26,830千円
	決算額(千円)	-	-	22,619千円
	内訳	一般財源	-	4,525千円
		国県補助金	-	18,094千円
		その他	-	-
	執行率(%)	-	-	84.3%

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標				
成果指標	買上げ予定指定地数	-	-	6筆(100%)
	買上げ完了指定地数	-	-	5筆(83.3%)
	買上げ未了指定地数	-	-	1筆(16.7%)
効率指標				

【自己評価】

評価項目		評価結果		
妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		国史跡の保存事業を扱う町教育委員会生涯学習課が直接買上げするのは、妥当である。		
成果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		買上げに際しては、地域の大切な歴史資源を保存するという事業の趣旨を理解いただき、ご協力をいただくことができています。		
効率性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		国史跡指定地の直接買上げには、文化庁の補助金が80%つくため、用地取得の町の持ち出しは、大幅に低減させることができています。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)		今後の展望、改善案、廃止・休止案等	
☒	現状のまま継続	⇒	本事業を通して、ローコストで、町の重要な歴史資源を取得することが出来ており、今後とも、追加指定、継続買上げを進め、本質的価値を持つ指定地の公有化を進めていきたい。
☐	改善のうえ継続		
☐	事業を拡大		
☐	事業を縮小		
☐	休廃止を検討		
☐	事業完了		

【評価委員の意見】

○大変興味深い事業である。公有化の後、どのようなビジョンをもって事業を進めるか、地域の資源をどう活用しどのように魅力を発信するか期待して見守りたい。

○公有化を進めるに当たり、町民の当該文化財に対する理解の広がり合わせて重要であると考えられる。シンポジウムの開催といった取組が必要であるとともに、一人でも多くの町民にとって当該文化財が身近に感じられる・意義が分かりやすく伝わるような取組もご検討いただきたい。

令和5年度 点検評価シート

No.11

事務事業名	学校経営サポート訪問事業	担当課	学校教育課
-------	--------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	6	安心して学べる質の高い教育環境づくり
	施策	1	教職員の資質向上
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	(1) 生徒指導に係る諸問題の未然防止及び早期対応に向けて、授業参観や具体的な助言等をおとして、学級経営のさらなる充実を図る。 (2) 臨床心理士による面談をおとして、教員のメンタルヘルスの保持・増進に資する。
事業の対象 (誰を・何を)	町立小・中学校 全学級
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他() ○前期(4月～5月下旬) 全校全学級を対象として授業参観を行い、児童生徒の実態・課題を把握する。担任に対しては、1年間の学級経営の見通しがもてるよう助言をする。 ○中期(9月下旬～10月下旬) 各校へ再訪問をする。授業参観を行い、学級経営のさらなる充実が図れるよう助言する。特に、授業改善や特別支援教育の視点から具体的な改善策等を提示する。 ○後期(1月～2月下旬) 各校の実情に応じた時期に再訪問する。授業参観を行い、1年間の学級経営を振り返るとともに、成果と課題について協議をする。
事業の成果 (意図する成果)	学級担任一人一人の課題に即して、授業改善・学級経営改善のための指導助言(面談形式)を行うことができ、生徒指導の充実が図れる。町の指導主事と町教育センター所属の臨床心理士や相談員と一緒に訪問をすることで、配慮を必要とする児童生徒の観察や対応のアドバイスをもらうことができる。新規採用職員や初めての異動経験者、中学校から小学校への異動者等の授業力のスキルアップや心のケアを行うことができる。

【事業費の推移】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	予算額(千円)	-	-	0円(経費なし)
	決算額(千円)	-	-	0円(経費なし)
	内訳	一般財源	-	-
		国県補助金	-	-
		その他	-	-
	執行率(%)	-	-	-

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標	「前期」実施回数	-	-	50学級 ※学年での面談あり
	「中期」実施回数	-	-	50学級 ※学年での面談あり
	「後期」実施回数	-	-	50学級 ※学年での面談あり
成果指標	教職員との面談	-	-	肯定的意見 80%以上
効率指標				

【自己評価】

評価項目	評価結果		
妥 当 性 (実施主体・手段等は妥当か)	B	A. 妥当である	B. 概ね妥当である
		C. 妥当でない	
成 果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている
		C. 上がっていない	
効 率 性 (コスト面等からみて効率的であるか)	B	A. 効率的である	B. 概ね効率的である
		C. 効率的でない	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	今後の展望、改善案、廃止・休止案等
☐ 現状のまま継続 ☒ 改善のうえ継続 ☐ 事業を拡大 ☐ 事業を縮小 ☐ 休廃止を検討 ☐ 事業完了	⇒ 各学校と指導室との日程調整が難しいため、指導室の指定した日時で実施する。 また、各学校及び学級の要請に応じて訪問及び面談を実施する。 学級単位や学年単位での訪問及び面談も可として、教職員の細かな要望にも対応できるようにする。

【評価委員の意見】

○有効性が高い事業である。手厚い大洗町ならではの事業である。時間的なゆとりの視点からの改善点として、来年度に向けては時期を区切り学校訪問を一定期間にして取り組もうとしていることは賛成である。学校からは肯定的意見が多かったとのことで支援体制を双方が苦しくならない程度できちんと継続していくことが大切であると感じる。 ○特に小学校では、担任一人でその学級の児童全てをきめ細やかにサポートすることが非常に難しいという現状がある。その意味で、担任に対する当該学校外からの組織的かつ中・長期的な支援体制が構築されることは望ましいことであり、この事業を量的にも質的にもより充実させることができるようさらなる工夫をご検討いただきたい。
--

令和5年度 点検評価シート

No.12

事務事業名	学校施設大規模改修事業	担当課	学校教育課
-------	-------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	6	安心して学べる質の高い教育環境づくり
	施策	2	学校施設の整備と学校の組織運営の改善
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	生徒の健全な学校生活を守り、安心して豊かな教育環境を整備するために、下記2件の工事を実施する。 ①大洗町立第一中学校照明設備改修工事 ②大洗町立南中学校空調設備改修工事
事業の対象 (誰を・何を)	①第一中学校校舎照明及び学校敷地に設置された屋外照明 ②南中学校空調設備一式(全館空調及び個別空調)
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 ■ 補助金 □ その他() ①令和3年度に実施設計を実施。令和5年5月に工事契約(電気設備工事)を行い、令和5年10月に工事を完了。 ②令和3年度に実施設計を実施。令和5年6月に工事契約(管工事)を行い、令和6年2月に工事を完了。 2件とも、工事にあたっては校舎内を広範囲にわたり作業する必要があるため、学校側と密にスケジュール調整をし、学校運営に支障が出ないよう実施した。
事業の成果 (意図する成果)	老朽化に伴い不良が相次いでいる設備を改修することで、教育環境を充実させると共に、生徒の安心・安全な学校生活を実現させる。 第一中学校においては、照明器具をLEDへ改修することで消費電力の削減にもつなげる。

【事業費の推移】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	予算額(千円)	-	-	136,015千円
	決算額(千円)	-	-	132,000千円
	内訳	一般財源	-	14,697千円
		国県補助金	-	39,503千円
		その他	-	77,800千円
	執行率(%)	-	-	97.0%

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標	実施設計	実施	-	-
	工事発注及び契約	-	-	実施
	工事完了	-	-	実施
成果指標	第一中学校電気使用量(2月)	40,502kwh	41,096kwh	33,001kwh
効率指標				

【自己評価】

評価項目	評価結果		
妥 当 性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である
		C. 妥当でない	
成 果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている
		C. 上がっていない	
効 率 性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である
		C. 効率的でない	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	⇒	今後の展望、改善案、廃止・休止案等
☐ 現状のまま継続 ☐ 改善のうえ継続 ☐ 事業を拡大 ☐ 事業を縮小 ☐ 休廃止を検討 ☒ 事業完了		

【評価委員の意見】

○南中学校の個別空調工事は燃料費の面からも大変有効であると思う。LED改修など計画的に進められていることは素晴らしい。現時点の施設の問題と児童生徒数の変化を見つめながらの長期的な施設の問題を総合的に判断して進めて行くことは大変だと推測されるが、学校側と協議をしながら、町民の理解を得ながら進めて行ってもらいたい。

○学校は児童生徒が一日の少なくない時間を過ごす場であり、安全性はもちろん居心地の良さもできる限り追求していくことが望ましい。LEDの導入推進という国の方針とも合わせて、児童生徒の目線に立った学校施設の環境づくりを今後も継続してご検討いただきたい。

令和5年度 点検評価シート

No.13

事務事業名	学校給食費補助事業(多子世帯対象)	担当課	学校教育課
-------	-------------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画	基本的方向	6	安心して学べる質の高い教育環境づくり
施策の体系	施策	4	学習環境の整備・充実
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	大洗町立小中学校に在籍している児童生徒の学校給食に係る経費の一部を補助することにより、保護者の経済的負担を軽減するとともに、子育て支援に資することを目的とする。
事業の対象 (誰を・何を)	(1) 大洗町に住所を有する児童生徒およびその保護者 (2) 町立の小中学校と中学校に在籍している児童・生徒が2人以上いる保護者 (3) 生活保護および就学援助を受けていない保護者 (4) 学校給食費を滞納していない保護者
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他() 各校のマチコミメールにより保護者へ通知し、いばらき電子申請・届出サービスから保護者が直接申請する。電子申請が困難な場合には、紙による申請も可としている。保護者が入力・記入した内容が上記対象要件と合致しているか確認し、年度末に補助金を交付する。
事業の成果 (意図する成果)	保護者の経済的負担を軽減するとともに、子育て支援に資することができる。

【事業費の推移】

事業費の推移

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額(千円)	6,496千円	6,496千円	5,550千円	
	決算額(千円)	4,972千円	5,232千円	4,482千円	
	内訳	一般財源	4,972千円	5,232千円	4,482千円
		国県補助金	-	-	-
		その他	-	-	-
	執行率(%)	76.5%	80.5%	80.8%	

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標	配布枚数(実家庭数)	832枚	798枚	759枚
成果指標	申請件数	215件	232件	212件
効率指標	1家庭あたりの補助額(決算額/申請件数)	23,125円/件	22,549円/件	21,137円/件

【自己評価】

評価項目		評価結果		
妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		令和4年度までは紙による申請を行っていたが、申請書の配布および回収に係る学校の業務の負担や、子どもを介すことによる申請書の紛失等のトラブルをなくすことを目的に、令和5年度より電子申請を導入した。保護者と直接やり取りすることでそれまでに起きていたトラブルも減り、今後も継続して行うに値する。		
成果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		少子化の影響もあり、経年で見ると申請件数は減少し、第3子や第4子が減っている分1世帯あたりの補助額も減少しているが、学校給食費への保護者の関心は非常に高いことから、子育て支援への一助となっていると考えられる。		
効率性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		いばらき電子申請・届出サービス利用に対して費用がかからないため、支出は補助金のみであり、コスト面からみて非常に効率的である。また、教育DX化の促進にもつながっており、対象要件の確認作業も効率よく実施することができた。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	
☒	現状のまま継続
☐	改善のうえ継続
☐	事業を拡大
☐	事業を縮小
☐	休廃止を検討
☐	事業完了

⇒

今後の展望、改善案、廃止・休止案等
多子世帯の経済的負担軽減のために必要な事業であり、保護者の関心も非常に高い。今後も電子申請を主としながら継続して実施していく。

【評価委員の意見】

○原材料費の高騰、及び異常気象等による農作物の収穫状況の不安定など、様々な困難が推測される。そのような中でも児童生徒の「食」を守っている事業である。是非今後も継続してってもらいたい。本事業については、町の経済的負担も考慮して、町全体で合意形成をしつつ今後も多子世帯を支援してってもらいたい。その結果、子育て応援の町として少子化対策に繋がっていくことを期待したい。

○各家庭にとって給食費の負担軽減は切実な問題であると考えられるが、どの程度負担軽減できるのかという点については町の財政面も考慮しながら町民全体で合意形成を図れるような機会が設けられることが望ましい。原則としては、引き続き負担軽減を維持・拡大する方向での可能性をご検討いただきたい。

第4 評価委員からの総合評価・意見

【評価委員の意見 1】

- ・大洗町ならではの特色を大切に事業が数多く実施されている。
- ・様々な事業の運営にあたっては、学校現場の負担軽減を考慮していることがわかり、評価に値する。
- ・学びの姿勢づくり推進事業(中学校大洗塾)は、これまで各中学校に任せられていたが会場を一カ所に集約することで、町の事業としてのイメージが高まった。中学生の交流も図られ、学習意欲が高まったのではないかと思います。
- ・大洗町の歴史的資源である古墳群について、様々な工夫をしながら、町外への発信を試みていることは素晴らしい。また、新たな企画のもと、計画的に整備を進めようとしていることも、「海」だけではないもう一つの町の「魅力・うり」を発信しようとしている。結果的に町民全体で「町を誇りに思う子どもたち」を育てることにつながっていると考える。
- ・限られた財政の中で、有効性の高い事業を進めていくことは大変なことである。成果指標そのものをどのように設定するか難しいところではあるが、町民の方々を含めた子ども達が幸福感をもてるような事業を今後も継続していってほしい。

【評価委員の意見 2】

今年度は計 13 の事業の点検評価についてそれぞれ意見を述べさせていただきましたが、全体としてどの事業も目標達成のための工夫が試みられており、評価指標の設定や各評価項目に対する自己評価も適切に行われています。点検評価は事業改善に結び付けることで初めて意味を持つものですので、そうした点検評価のサイクルを町職員の皆さんが自分事として捉えてその一員として事業改善に継続的に取り組んでいただくことを願っております。

また、個々の事業に目を向けると、企業や地域団体との連携、特に町外の機関との連携といった幅広い連携のもとで事業が企画運営されている点が大洗町教育行政のアピールポイントであると感じました。連携においては、連携先と行政がいかに対等な立場でお互いの専門性を生かしながらより質の高い事業を目指すことができるかという点が最も重要であり、その点で大洗町は本来の連携のあり方に近い形での連携を進められていることを改めて認識しました。

これからも各事業の成果をさらに発展させるとともに改善点を確実に改善していけるよう、各事業の企画運営を進めていただければと思います。